医療と介護。そして、その未来へ。

せいすい

Medical & Nursing care. Leading toward the future. SEISUI

ご自由にお持ちください

Contents

2024.09. Vol.41

02~03 | 対談 訪問看護ステーション開設 訪問医療の支援体制が強化
04 | 外国人職員が活躍できる環境へ
05 | わくわくご近所フェスで地域交流 新しいパンフレットができました
06 | 秋祭りを開催します！ カラダが喜ぶレシピ紹介
07 | 健康診断はもりぐち清水会病院にて！



表紙写真 / ドイツ　マインツ
撮影：もりぐち清水会病院　山内康雄 Dr

7月1日に訪問看護ステーションが開設

在宅医療部門の二人に聞く

訪問医療の支援体制が強化

もりぐち清水会病院では、7月1日に「訪問看護ステーション」を開設しました。これにより、訪問診療と通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションの在宅医療体制が一段と強化されました。そこで、訪問看護ステーションの山本真吾所長と在宅支援課訪問診療担当の角森亮一課長代理のお二人に、在宅医療についてお聞きしました。



在宅支援課 訪問診療担当
課長代理 角森 亮一
Tsunomori Ryoichi

対×談



訪問看護ステーション
所長 山本 真吾
Yamamoto Shingo



Q 訪問看護ステーションとは？

山本 訪問看護は、看護職員やセラピスト（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）が患者さまのお宅を訪問し、医療的なケアや日常生活の支援を提供するサービスです。具体的には医療的ケアとして病状の観察、点滴や注射薬の管理、褥瘡（床ずれ）の予防と処置などを行います。日常生活の支援としては、入浴や食事の介助、リハビリテーションの指導などがあります。訪問看護は、主治医の指示によって行われ、患者さまの病状や生活状況に応じて個別的に計画します。

Q もりぐち清水会病院 訪問看護ステーションの特徴はなんでしょうか？

山本 当ステーションの特徴として、1点目は専門性の高いケアの提供です。当ステーションでは、経験豊富なスタッフが在籍しており、緩和ケアや褥瘡ケアだけでなく、精神的ケアや小児看護など、専門性の高い看護サービスを提供できます。2点目は、柔軟な対応力です。車を使って訪問しますので、急な利用変更や追加依頼にも柔軟な対応ができます。また、緊急時の訪問対応も24時間体制で行っており、患者さまと家族さまに安心していただけます。3点目は、チーム医療の実践です。一人のスタッフが固定して訪問するのではなく、複数のスタッフによる訪問体制を取っています。これにより、多角的な視点でケアを提供し、チーム全体で患者さまの状態を把握・共有することができます。

Q 一方の訪問診療はいかがでしょうか？

角森 訪問診療は、通院が困難な場合など、さまざまな理由で病院へ行くことができない患者さまのご自宅へ医師や看護師が訪問し、診察や検査、治療、薬の処方などの医療サービスを提供します。基本的に24時間体制で在宅診療サービスを提供しており、たとえ夜中の体調不良でも、直ぐに対応できる医師が訪問します。そのほか、患者さまの健康状態や生活環境に合わせての療養指導、「最期は自宅で看取りたい」といった希望などの幅広いニーズに柔軟な対応を心がけています。



Q 訪問看護ステーションが開設されましたが、訪問診療を含めて、在宅医療のメリットは何でしょうか？



角森 メリットは慣れ親しんだ環境で医療が受けられることです。自宅という慣れ親しんだ環境のもとで、家族さまのサポートを受けながら療養することができますので、患者さまは精神的に安定し、ストレス軽減につながります。家族さまとの時間が増えることも、患者さまにとっては安心感が高まります。また、患者さま一人ひとりの状態に合わせたケアを受けることができる点も在宅医療のメリットです。一方、サービスの提供者側としても、患者さまとの深い関わりが持てるメリットがあります。患者さまとじっくりコミュニケーションが取れ、長期的な関係性を築くことができます。患者さまの自宅環境や生活状況を直接観察し、ニーズに合わせた診療や看護を提供することもできます。私たちとしても、患者さまの生活の質の向上や改善を長期的に見られますので、やりがいのある仕事だと感じています。

Q 訪問看護ステーションの開設にあたり、同じ在宅医療となる訪問診療との連携はいかがでしょうか？

山本 訪問診療は、あらかじめ設定したスケジュールに沿って医師が患者さまのお宅を定期的に訪問し、診察や治療を行うサービスです。訪問看護は、病院で受ける医療とほぼ同等のサービスを提供するものです。訪問看護師と訪問診療の医師が、患者さまの状態や治療計画について密接に情報共有することで、より適切な看護が提供できます。定期的なカンファレンスや訪問を行うことで、多角的な視点から医療が行えます。さらに迅速な対応と安全性の向上に資することができます。医療的な判断が必要な場合に、すぐに医師に相談できる体制があることで、安全性が高まります。在宅支援課と訪問看護ステーションは隣接ですので、情報共有や相談もしやすい環境にあり、上手く連携が取れています。



Q 最後に今後の在宅医療部門としての目標をお願いします。

山本 **角森** 患者さまや地域の方々から、安心して在宅医療を任せられると評価していただけることが大事です。そして、地域の医療・介護・福祉を支える重要な存在であるとの認識を持ってもらえることも欠かせません。清水会グループの理念である「医療・介護・福祉を通じ地域に貢献する」を体現し、地域に根差した、信頼される在宅医療部門となることを目指していきます。



ありがとうございました。

もりぐち清水会病院は、住み慣れた環境でできるだけ長く生活ができるよう支援するため、在宅医療にも力を入れて取り組んでいます。在宅医療について関心がある方は次の連絡先へご連絡ください。

もりぐち清水会病院

訪問看護ステーション
☎06-6786-9028
FAX06-6786-9038
担当：山本（やまもと）

在宅支援課（訪問診療）
☎06-6997-0101
FAX06-6786-9038
担当：角森（つのもり）

外国人職員が活躍できる環境へ



超高齢社会の進展と共に、医療・介護ニーズの急増に加えて、人材不足が深刻化するなか、外国人職員が医療・介護業界を支える重要な役割を果たしています。厚生労働省の令和４年10月のデータによれば、全国で約７万４千人の外国人が医療･福祉業界で働いています。当グループでも多くの外国人職員が勤務しており、サービスの提供には無くてはならない存在となっています。

とはいえ、日本とは異なる言語や文化をもつ外国人職員が活躍するためには、高低さまざまな壁を乗り越えられるよう、フォローが必要となります。当グループでも種々支援策を講じていますが、ここでは、当グループの外国人職員の受け入れ態勢の特徴である、サポート職員をご紹介します。

外国人職員の多くは、介護職員・看護助手職員として採用しています。患者さまや利用者さまとのコミュニケーションも大切な仕事の一つですので、採用に際しては、概ね日本語能力検定 N3（日常で使われる日本語をある程度理解できるレベル）※を基準にしています。また、日本語能力向上のための施策を講じていますが、職員同士のコミュニケーションや行政手続きなどで困っている場面も少なくありません。一方で日本人職員がそれらを聞き出し、解決に導くことは言葉の問題が壁となります。そこで、母国語などで円滑に問題解決を図るため、グループ本部にサポート職員を配置しています。

サポート職員はベトナムとミャンマー出身職員が１名ずつ勤務しています。どちらも日本語能力試験N1（幅広い場面で使われる日本語を理解することができるレベル）の取得及び、介護職員としての経験を有しています。また、日本での生活も長く、その高い日本語能力と経験を活かして、現場の外国人職員をフォローしています。サポート職員は各事業所で働く外国人職員を訪問し、公私に渡り、困りごとや課題を聞き出します。自身の知識や経験に基づいた助言を行い、労働上の問題・課題については現場職員の上司や管理者に代理で報告と相談も行います。また、行政上の手続きのために行政官庁への付き添い、日本文化を学ぶクラブ活動の主催、日本語の勉強会を開くなど、外国人職員が日本の生活に馴染み、活躍できるように様々な取り組みを精力的に行っています。サポート職員は当グループの外国人職員の大きな特徴の一つとなっており、働きやすい就労環境構築の一端も担っています。

外国人職員はその多様な文化的背景を活かして、母国の伝統や習慣を紹介したり、食事を提供するなどのレクリエーションを実施し、利用者さまの生活に色どりを加え、サービスの質の向上に寄与しています。今後も外国人職員が活躍できる職場環境の実現を目指し、もって、皆さまに最良のサービスを提供できるよう努めてまいります。

※日本語能力検定はN1～N5まであり、N1が最も難しいレベルです。



スマホ相談会。熱心にアプリの使い方を聞いていました。

わくわく ご近所フェスで 地域交流



ネイル体験会。「きれいになったやろ?」と大喜びでした。

2024年7月5日、秋祭りに先駆けて、有料老人ホーム鶴見緑地にて「わくわくご近所フェス」を開催しました。メロンパンとお豆腐の出張販売と、ネイル体験会やスマホ相談会のコーナーを設けたミニお祭りで、入居者さまとご家族さまだけでなく、近隣にお住まいの方にもご参加いただき、交流することを目的として開催しました。

その場で焼くメロンパンのとても良い香りが会場中に広がるなか、入居者さまやご来場いただいた方々には、各ブースを自由に回っていただきました。



メロンパンの出張販売。準備した270個が完売しました。



梅雨の時期にもかかわらず
晴天だったことも手伝って、
多くの方々に参加していただくことができ、
盛況となりました。相談員は
「入居者さまも住民の一人ですので、
地域の方々との交流を図る機会を設けて、
地域に溶け込めるように努めたい。」
と、意欲を見せていました。







お豆腐の出張販売。お豆腐だけでなく大豆スイーツなども好評でした。



新しい パンフレット ができました!

当グループの事業所パンフレットや、もりぐち清水会病院の健診センターのパンフレット、採用パンフレットなどを一新しました。

新しい事業所パンフレットは、これまでお配りしていたパンフレットよりも大きな A4 サイズとなり、文字を大きく、情報量も増やして、今まで以上にわかりやすくなりました。

健診パンフレットや採用パンフレットは、写真を大きく配置し、読みやすくイメージしやすいパンフレットとなりました。

新しいパンフレットは各事業所で配布しているほか、一部はホームページでも公開予定です。医療機関や介護施設などをお探しの方は、ぜひご覧ください!







秋祭り（あきまつり）！

を開催します！



今年も9月～10月にかけて、清水会グループの各事業所で秋祭りを開催します。今年はもりぐち清水会病院が開院してから初めての秋祭りとなります。鶴見緑地病院の秋祭りよりもパワーアップして開催しようと、意気込んで準備を進めています。一年に一度の大イベントとあって、どの事業所も職員一丸となって取り組んでいます。
右記の事業所については、ご家族だけでなく、どなたでもご参加できますので、ぜひご来場ください！

※感染症の状況等により開催中止、もしくはご来場制限を行う可能性があります。また、開催日時は変更する場合があります。その際は別途ホームページなどでお知らせいたします。

開催予定日時

旭さくら苑
9月28日（土） 13:00～15:00

もりぐち清水会病院
10月20日（日） 10:00～15:00



カラダ喜ぶ

レシピ紹介コーナー

栄養課

今回の献立

かぼちゃもち



かぼちゃはビタミンA,C,E（エース）と呼ばれる抗酸化作用の強いビタミンが豊富に含まれている緑黄色野菜です。中でもビタミンEは「若返りビタミン」と呼ばれることも。一般的なかぼちゃは夏から初秋にかけて収穫されますが、食べ頃になるのは秋から冬にかけてです。ビタミンAもビタミンEも脂溶性であるため、油と一緒に摂ることで吸収率が高まります。食物繊維も多く含まれているので、消化を促進し便秘を緩和します。簡単に作れるので、お試しください。

城東こすもす苑
管理栄養士
後藤 江里
Goto Eri

作り方

かぼちゃの種とワタをとっておく。

1. かぼちゃを電子レンジにて600Wで6分加熱する。
2. 皮を取ってすり潰す。
3. ②に（A）を入れて丸めたものを、フライパンにバターをひき焼く。
4. （B）を入れて絡める。

ご用意いただく材料

（2人分）

- かぼちゃ …… 1/4 玉（300g 程度）
- （A）砂糖 …… 大さじ 1
- （A）片栗粉 …… 大さじ 6
- バター …… 10g
- （B）砂糖…… 大さじ1/2
- （B）醤油…… 大さじ1
- （B）料理酒…… 大さじ1
- （B）みりん …… 大さじ1

ビタミンが豊富！



守口市の皆さまへ

健康維持・増進をサポートします



もりぐち清水会病院 健診センター

もりぐち清水会病院で
守口市特定健康診査（個別健診）を受診できます。

健診期間 | 令和 6 年 8 月 1 日（木）～令和 6 年 11 月 30 日（土）

対象の方 | 40 ～ 74 歳の守口市国民健康保険に加入している方





～詳細検査をお得に受けたい方へ 耳寄り情報 !!～



市民総合（特定）健康診断から、人間ドック（胃部内視鏡検査）に変更することができます。

①人間ドック　26,000 円 ➡ 実質負担額 5,000 円

守口市からの助成金 21,000 円（上限 21,000 円）

②脳ドック　16,500 円 ➡ 実質負担額 0 円

守口市からの助成金 16,500 円（上限 18,000 円）

実質負担額 5,000 円で人間ドックと脳ドック、両方を受診することもできます。

※精算時は全額お支払いいただきます。検査後、守口市保健課に申請することで、助成金が還付されます。
詳しい申請方法などは、下記連絡先に遠慮なくお問合せください。

事前予約制

まずは健診センターまでお問合せください。

☎06-6786-9530　FAX 06-6786-9531

※本年度中における市民総合（特定）健康診査を受診していない方が対象となります。
※当日は、保険証と受診券が必要になります。

詳しくは守口市ホームページをご覧ください。▶

75 歳以上の後期高齢者医療健康診査も実施しています!

清水会グループ

WEBで情報発信中

携帯電話で
二次元コードを
読み取って
ご覧いただけます

清水会
ホーム
ページ

採用特設
ページ

インスタ
グラム

ご案内図



医療法人 清水会

ミズノ胃腸科・内科・整形外科

A 〒535-0022
大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6952-5058

もりぐち清水会病院

B 〒570-0038
守口市河原町3-12
☎06-6997-0101

介護老人保健施設 おひさま園

C 〒535-0021
大阪市旭区清水2-1-21
☎06-6952-0101

森小路清水会クリニック

D 〒535-0022
大阪市旭区新森3-3-24
☎06-6958-7070

トム・ソーヤ訪問看護ステーション

E 〒535-0022
大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6956-0505

もりぐち清水会病院 橋波リハビリセンター

F 〒570-0039
守口市橋波西之町2-4-19
☎06-6991-0030

門真クリニック あいわ診療所

G 〒571-0048
門真市新橋町2-12
☎06-6908-0721

社会福祉法人 清水福祉会

特別養護老人ホーム 養護老人ホーム 旭さくら苑

H 〒535-0021
大阪市旭区清水3-15-23
☎06-6957-8008

ケアハウス鶴見緑地

I 〒570-0044
守口市南寺方南通3-4-16
☎06-6998-3003

特別養護老人ホーム 城東こすもす苑

J 〒536-0016
大阪市城東区蒲生2-2-38
☎06-6933-2002

特別養護老人ホーム 鶴見緑地苑

K 〒570-0032
守口市菊水通3-16-2
☎06-6995-5005

サービス付き高齢者向け住宅 さくら

L 〒535-0022
大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6958-7007

介護付き有料老人ホーム 鶴見緑地

M 〒570-0043
守口市南寺方東通1-1-31
☎06-6997-9009

小規模多機能ホーム さくら

N 〒535-0021
大阪市旭区清水3-15-17
☎06-6954-7100

特別養護老人ホーム 城東さくら苑

O 〒536-0004
大阪市城東区今福西6-6-20
☎06-6939-7000

FCTIAMO HIRAKATA × 清水会グループ
清水会グループはFCティアモ枚方のオフィシャルシルバースポンサーです。